

セットアップガイド & マニュアル

Silver Edge Engine — パラメータリファレンス、アラート設定、ライブトレーディングガイド。

クイックスタート — 7ステップ

1. TradingViewで正しいチャートを開きます（例：SUIUSDT Perpetual, H2, Bitget）。
2. Silver Edge Engine — DEMO（無料）または完全版をロードし、設定を開きます。
3. Asset Preset を選択します（例：“SUI H2”）。すべてのパラメータが自動的にロードされます。
4. ライブトレーディング用に Trade Mode: Realtime only に設定します。
5. Bot/Webhookセクションに4つのWunderTrading Webhookコードを入力します。
6. 時計アイコンをクリック “アラートを追加” “alert() function calls only”。
7. WunderTrading Webhook URL を貼り付け 有効期限：無期限 保存。

Strategy Testerからアラートを作成しないでください — 常にトップツールバーの時計アイコンを使用してください。

Asset Preset

The preset dropdown is the primary control. Selecting a preset loads a complete, backtested parameter set. All manual fields below are ignored when a preset is active.

Preset	Timeframe
SUI H2	H2
1000SATS H1	H1
ETH H2	H2
BRETT H2	H2
ZEC H2	H2
XAG H2	H2
BTC H2	H2
BTC H1	H1
RIVER H1	H1
RIVER H2	H2
NEAR H2	H2
NEAR H3	H3
DOGE H2	H2
DOGE H4	H4
PEPE H2	H2
PEPE H6	H6
SIREN M10	M10 (Long Only)
SIREN H1	H1 (Long Only)
Manual	以下のすべてのフィールドが直接使用されます

Additional asset presets are added with each update.

リストにないアセットには “Manual” を使用し、ご自身のバックテストに基づいてパラメータを設定してください。

戦略パラメータ (Manualモードのみ)

These fields are only active when Preset = Manual . With any other preset, these values are overridden automatically.

パラメータ	デフォルト	説明
Channel Length	20	シグナルエンジンのルックバック期間
Stop Loss %	5.0	トレードあたりの最大損失、エントリー価格から計測
Take Profit %	12.0	利益目標、エントリー価格から計測
Trail %	3.0	Trailing stop distance from highest/lowest point since entry
Allow Long	On	ロングエントリーを有効化
Allow Short	On	ショートエントリーを有効化

新しいバックテストを実行せずにこれらのパラメータを変更しないでください。プリセット値は体系的な最適化の結果です — 任意の変更はパフォーマンスを低下させます。

Dynamic Sizing (Manual mode only)

Optional position sizing that scales trade size based on recent win/loss streaks. Enabled by default in the ZEC and XAG presets.

パラメータ	デフォルト	説明
Dynamic Sizing active	Off	連続ベースのサイジングを有効化
Base Size USDT	500	初期トレードサイズ。連続後のリセットポイント。
Win Scale %	10	連続勝利ごとの増加（複合）
Max Win Scales	3	連続スケールアップの上限
Loss Reduce %	15	連続損失後の減少

拡張プリセットには最適化されたダイナミックサイジングパラメータが含まれます。勝ちシリーズ後の損失後、サイズはベースにリセットされます。

Customer Override (Full version only)

カスタマイズレイヤーにより、Manualモードに切り替えることなくプリセットパラメータを変更できます。Overrideがオフの場合、プリセット値がそのまま適用されます。Overrideがオンの場合、カスタム値がプリセットデフォルトを置き換えます。

パラメータ	説明
Override Preset	メインスイッチ。OFF = プリセット値。ON = 以下のカスタム値。
SL %	カスタムStop Loss率
TP %	カスタムTake Profit率
Trail %	カスタムTrailing Stop起動率
Trail Execute %	カスタムTrailing Stopピークからの実行距離
Allow Long	ロングエントリーの有効/無効
Allow Short	ショートエントリーの有効/無効

チャート上のInfoラベルは現在アクティブな値を表示し、カスタマイズがアクティブな場合 “**OVERRIDE**” を表示します。この機能はDEMO版では利用できません。

重要： カスタム値はバックテストされていません。分析なしにパラメータを変更するとパフォーマンスが低下する可能性があります。プリセットデフォルトは最適化済みです — ご自身の判断でカスタマイズしてください。

エグジットロジック — 取引の決済方法

各取引には3つの決済メカニズムが同時に動作。最初にトリガーされたものがポジションを決済。

Exit Type	Trigger	Example (SL 5%, TP 12%, Trail 3%)
Stop Loss	価格がエントリーから SL % 逆行	ロング 1.00 ストップ 0.95
Take Profit	価格がエントリーから TP % に到達	ロング 1.00 TP 1.12
Trailing Stop	価格がエントリー後のピークから Trail % 戻す	ピーク 1.08 トレール 1.0476で発動

ライブトレーディングでは、WunderTrading がBitget上ですべてのエグジット (SL/TP/Trail) を直接管理します。エグジットパラメータはエントリーペイロードで自動送信されます。バックテストモードでは strategy.exit() がローカルで同じ動作をシミュレートします。

WunderTrading設定：WTボット設定のSL、TP、Trailing Stopフィールドを空のままにしてください。すべてのエグジットパラメータはエントリーシグナルペイロードを介して動的に配信されます。

Bot / Webhook Settings

パラメータ	説明
CODE: Enter Long	WunderTrading Enter Long Webhookコード
CODE: Enter Short	WunderTrading Enter Short Webhookコード
CODE: Exit Long	WunderTrading Exit Long Webhookコード
CODE: Exit Short	WunderTrading Exit Short Webhookコード
WT Leverage	Bitgetに送信されるレバレッジ（デフォルト：4）。バックテストではシミュレートされません。

WunderTrading上の各アセット/ボットには独自の4つのWebhookコードがあります。トレードするアセットの正しいコードを入力する必要があります。コードはWunderTrading ダッシュボードのBot Settings内にあります。

Mode Settings

Trade Mode — Critical for Live Trading

ライブ取引前に Trade Mode を “Realtime only” に設定する必要があります。“Backtest+Realtime” のままにすると、TradingViewはページリロードのたびに数百の過去トレードを再計算します。これはファントムシグナル、点滅するラベルを引き起こし、バックテストにのみ存在するポジション (Bitget上にはない) の意図しないクローズ注文を発動させる可能性があります。完全版のデフォルトはすでに “Realtime only” に設定されています。

設定	使用タイミング	効果
----	---------	----

Backtest+Realtime	Backtesting only (DEMO)	過去+ライブバーでトレード。完全なエクイティカーブを表示。 ライブポットには安全ではありません。
Realtime only	Live trading (required)	ライブバーでのみトレード。過去の再計算なし。 バックテストからのゴーストポジションは最初のライブバーで自動的にクローズされます。

変更方法：TradingViewで戦略名をクリック 設定（歯車アイコン） “Inputs” タブ “Mode” までスクロール Trade Mode を “Realtime only” に設定。保存。アラートを作成する前に行ってください。

Force Proof (Pipeline Test)

パイプラインテスト：有効にすると、エンジンは1つのトレードを開き、次のバーでクローズします。ライブ前に完全なシグナルチェーン（TradingView Webhook WunderTrading Bitget）を検証するために使用します。テスト成功後に無効にしてください。

Chart Visuals

戦略はチャート上に直接ビジュアルエイドを描画し、ポジションを一目で監視できます。すべてのビジュアルは純粋に付加的です — トレードロジック、シグナル、Webhook実行に影響しません。

Element	説明
Signal Channel	上部シアン/下部オレンジのライン、青い塗りつぶし — ブレイクアウトチャンネルを表示
Entry Marker	緑の三角形（Long）バーの下、マゼンタの三角形（Short）上
Exit Marker	赤い十字（Long Exit）上、オレンジの十字（Short Exit）下
SL / TP Lines	赤いライン = Stop Loss、緑のライン = Take Profit。価格ラベル付き。ポジションが開いている間のみ表示。
ポジション背景	トレード中の微妙な緑（Long）または赤（Short）の背景シェーディング
Position Size	エントリーマーカーの下/上に表示されるUSDT金額（Realtimeモードのみ）

3つのビジュアル要素はすべて独立して切り替えできます “ Chart Visuals ” input group:

Toggle	デフォルト	効果
エントリー/エグジットマーカー	On	と マーカー+ポジションサイズラベルの表示/非表示
SL/TP Lines	On	ストップロスとテイクプロフィットのライン（価格ラベル付き）の表示/非表示
ポジション背景	On	オープンポジション中のカラー背景の表示/非表示

推奨：TradingView内蔵のトレードラベルを無効化 TradingViewはデフォルトで独自の “ Long ” / “ Short Exit ” ラベルを表示します。カスタムマーカーと重なり、視覚的な混乱を引き起こします。無効化方法：チャートを右クリック 設定 “Trading” タブ “チャートに注文を表示” のチェックを外す。レイアウトごとに1回の設定。

推奨のビジュアル設定

Scenario	Entry/Exit	SL/TP	Background
ライブモニタリング	On	On	On
クリーンチャート（シグナルのみ）	On	Off	Off
最小（オーバーレイなし）	Off	Off	Off

変更方法：チャート上の戦略名をクリック 設定（歯車アイコン） Inputs “ Chart Visuals”までスクロール。変更は即座に適用されます。

アラート設定 — ステップバイステップ

- 正しいチャートを開く：例 SUIUSDT Perpetual, H2（Bitget）。
- Silver Edge Engine — DEMO（無料）または完全版をロード。Presetを選択。Trade Mode: Realtime only に設定。
- 4つのWunderTrading Webhookコードを入力。
- 時計アイコン（トップツールバー）をクリック “アラートを追加”。
- 条件：Silver Edge Engine “ alert() function calls only ”。
- WunderTrading Webhook URL を貼り付け。
- 有効期限：無期限（有効期限なし）。
- 保存 アラートアイコンが緑になる = アクティブ。

アラートタイプは “ alert() function calls only ” でなければなりません — “ Order fills only ” や “ Order fills and alert() function calls ” ではありません。戦略は alert() を介して自動的にペイロードを生成します。

取引所設定 — ステップバイステップ

このガイドではBitgetを参照取引所として使用しています。システムはUSDT無期限先物とWebhookベースの実行をサポートする任意の取引所で動作します（Bybit, OKX, Binance等）。

1. サブアカウントを作成（推奨）

Bitgetで：プロフィール サブアカウント サブアカウント作成。トレーディングボットごとに1つのサブアカウントを使用（例：“SE-SUI-H2”）。各アセットの資金とリスクを分離します。

2. APIキーを生成

サブアカウントで：API管理 APIキー作成。明確に命名（例：“SE-Live-SUI”）。Futures Trading 権限を有効化。IPホワイトリストは空のまま（WunderTrading必須）。API Key、Secret Key、Passphraseを安全に保存。

3. ポジションモードを設定

Bitget Futures設定で、ポジションモードを Single Mode（Hedge Modeではなく）に設定。戦略がLongからShortへ1ステップで切り替えられるようにします。

重要：サブアカウントは設定を継承しません。ポジションモードは各サブアカウントで個別に、各トレーディングペアごとにOne-Wayに設定する必要があります。メインアカウントの設定は引き継がれません。これをスキップすると、WunderTradingが“trading mode”エラーを表示し、トレードは静かに失敗します。

4. マージンモードをIsolatedに設定

マージンモードを Isolated（Crossではなく）に設定。各ポジションに割り当てられたマージンにリスクを制限します。Crossモードでは、1つの損失トレードがすべてのポジションに影響する可能性があります。

5. レバレッジを設定

リスク許容度に基づいてレバレッジを選択。バックテストは4xを使用。WT Tradeサイズはマージンです — レバレッジを掛けると実際のポジションサイズになります。例：500 USDTマージン × 4x = 2,000 USDTポジション。利益も損失もレバレッジに比例します。レバレッジが高いほど清算価格も近くなります — Stop Lossが清算前にトリガーされることを確認してください。

重要：取引所で設定したレバレッジは、戦略インプットのWT Leverage設定と一致する必要があります。不一致はポジションサイズの誤りを引き起こします。

6. WunderTradingに接続

1. WunderTrading で：My Exchanges Add Exchange Bitget Futuresを選択。
2. API Key、Secret Key、Passphraseを入力。
3. Signal Botを作成：取引所、ペア（例：SUIUSDT）、タイムフレームを選択。
4. 4つのWebhookコード（Enter Long, Enter Short, Exit Long, Exit Short）をコピー。
5. TradingViewの戦略のBot/Webhook設定に貼り付け。

6a. WunderTradingボットモード

WunderTradingボットの設定方法は2つあります：

JSON Mode（シンプル）	Form Settings Mode（アドバンスド）
SL、TP、Trailing Stopはシグナルペイロードで自動送信されます。WunderTradingでの手動設定は不要です。	エグジットパラメータはWunderTrading ボットダッシュボードで直接設定されます。Move to Breakeven を有効化 — 追加の利益保護レイヤー。
最速セットアップ — コードを貼り付け、Webhookを設定、完了。	プリセットテーブルからSL、TP、Trail、BE値の入力が必要。
推奨：クイックセットアップ、初心者向け。	推奨：最大パフォーマンスを求める経験豊富なトレーダー向け。

Move to Breakeven は、トレードが定義された利益しきい値（例：2.5%）に達すると、Stop Lossを自動的にエントリー価格に移動します。モメンタムを示したトレードのリスクを排除します。Form Settingsモードでのみ利用可能。

Form Settings — Preset Values for WunderTrading

Form Settingsモード使用時にWunderTrading ボットダッシュボードにこれらの値を入力します。値は内蔵プリセットと一致します。BE Exec. = 0%はStop Lossが正確なエントリー価格に移動することを意味します。SIRENはBreakevenを使用しません（BEフィールドを空のままにしてください）。

7. パイプラインを検証

戦略設定で Force Proof を有効化。テストトレードを1つ開き、次のバーでクローズします。トレードがBitgetに表示されることを確認。テスト後にForce Proofを無効化。

同じセットアッププロセスが他のWebhookプラットフォーム（3Commas, Cornix, Aleeert）や他の取引所にも適用されます。APIとボット作成のステップを適宜調整してください。

よくある質問

ボットが取引しない — なぜ？

エンジンは確認されたブレイクアウトが発生した場合のみトレードを開きます。シグナル間、ボットは待機します。これは正常です。トレードはボラティリティイベントの周りに集まる傾向があります。日単位ではなく、週や月単位でパフォーマンスを評価してください。

ボットはどのくらいの頻度で取引しますか？

トレード頻度はアセットとタイムフレームに依存します。例：SUI H2はバックテストで1年間に約215トレードを生成しました。複数のトレードがある週もあれば、ない週もあります。期待される動作です。

バックテストとライブが違うのはなぜ？

3つの要因：(1)バックテストではレバレッジがシミュレートされない（TV制限）、(2)ファンディングレート（4×で8時間あたり約0.01-0.03%）が含まれない、(3)WunderTradingの1-2秒のレイテンシーが小さな差異を引き起こす可能性。ライブの勝率とリターンはバックテストより低い場合があります。戦略は最もリアルなバックテストのために process_orders_on_close=true と bar_magnifier=false を使用しています。

Should I use higher leverage?

4×が推奨される出発点です。より高いレバレッジでは、バー内の急激な動きがバーのクローズとストップのトリガー前に清算を引き起こす可能性があります。90日間のライブ実績後、実際のドロウダウナーデータに基づいて再評価してください。

ゴーストポジション修正とは？

Backtest+RealtimeからRealtime onlyに切り替えると、Bitget上に存在しないバックテストからのオープンポジションがある場合があります。エンジンはこれを検出し、最初のライブバーで静かにクローズします。手動介入は不要です。

Can I use a different exchange?

はい。システムはUSDT無期限先物を提供する任意の取引所で動作します。Webhookに対応した実行プラットフォーム（WunderTrading, 3Commas, Cornixまたは同様）が必要です。プロセスは同じです — API接続ステップのみが異なります。

Pine Editor で “ calc_on_every_tick ” に関する黄色い警告が表示されます。問題ですか？

いいえ。この警告は無害です。Infoラベルが表示目的で毎ティック更新されるために表示されます。シグナル生成、エントリー/エグジットロジック、バックテスト結果には影響しません。安全に無視できます。

3Commas で使えますか？

はい。3CommasでSignal Botを作成し、Webhookコードを設定して戦略設定に貼り付けます。フォーマットは互換性があります。取引所固有のセットアップについては3Commasのドキュメントを参照してください。

レバレッジはどのくらい使うべき？

バックテストは参照として4×を使用しますが、レバレッジをシミュレートしません（TradingView制限）。ライブでは、WT Tradeサイズがマージンです。マージン × レバレッジ = 実際のサイズ。例：500 USDT × 4× = 2,000 USDT。ライブP&Lはバックテスト数値の約4×です。レバレッジが高いほど清算価格が近づきます。十分なバッファ資金を確保してください。

I get a “ trading mode ” error — what ’ s wrong?

Bitgetサブアカウントはメインアカウントから設定を継承しません。各サブアカウントごとに、各トレーディングペアに対してポジションモードを One-Way に設定する必要があります。Bitget Futures Settings Position Mode One-Wayに進みます。

I closed a trade manually on Bitget — what now?

Bitgetで直接ポジションをクローズした場合、WunderTrading はまだオープンだと考えています。WunderTrading Positions Liveに進み、ポジションを見つけて Xアイコンをクリックして削除します。さもないと次のシグナルが無視される可能性があります。削除時にWunderTrading が “ FAILED ” を表示する場合がありますが、これは正常で無害です。

ライブ取引サイズの変更方法は？

戦略設定の 5 Bot / Webhook で、WT Trade Size (USDT) を希望の金額に設定します（デフォルト：500）。WunderTrading に送信されるポジションサイズを制御し、バックテストサイジングとは独立しています。

Backtest Settings (TradingView Strategy Properties)

Property	Value	Why
Initial Capital	3,000 USDT	Matches intended bot capital
Default Qty	500 (Cash)	トレードあたり500 USDT (スクリプトによりオーバーライド)
Commission	0.06%	Bitget Perpetual テイカー手数料
Slippage	2 ticks	Conservative fill assumption
Pyramiding	1	一度に1ポジション

これらの値は strategy() ヘッダーで設定されています。カスタムテストを実行しない限り、TradingView Properties で変更する必要はありません。

